

2017年度予算要望書を林市長に提出

今の課題解決こそが横浜の未来につながる

「2017年度
9月13日、
横浜市議員団は
日本共産党横



、予算要望書提出し、懇談後に、市長室で林市長と日本共産党横浜市会議員団9名全員が記念撮影。左から三人目がみわ智恵美



2017年度は中期
要望書の冒頭で、

横浜市での予算編成に
対する日本共産党の
要望」を林文子横浜
市長に提出しました。

す。

浜などを求めています。

生活関連インフラ整備、安全で平和な横

成、横浜の財産である人・文化・みどり

を未来につなぐ予算編成、

略」の見直しを含めた予算配分が求められています。

大貫憲夫団長は要望書を手渡し、今の課題を解決すること

が横浜の未来につながることを考えているので、要望を検討してほし

と述べました。

また、ICT化が進んでも、児童福祉司をはじめ福祉や教育の現場など人手が必要なのは多く、単に財政的な面だけでは考えられないので、必要に応じて人



た。

障害者などの要支援の人達が速やかに避難できる体制を整えてほしいと述べまし

た。

林市長は、災害時の伝達方法の改善を検討しており、要支援者の避難についての要望はよくわかったと述べました。

また、児童福祉法の改定で児童相談所の児童福祉司の数を市が決められるようになったが、人口比や国の示すやり方での決めかたではなく、近年深刻事例も相次ぎケースワーカーの抱えている数も膨大になっているので、そこに見合う増員ができるよう、現状をみて配置してほしいと述べました。

また、ICT化が進んでも、児童福祉司をはじめ福祉や教育の現場など人手が必要なのは多く、単に財政的な面だけでは考えられないので、必要に応じて人

を配置していき

たいと述べました。

また、ICT化

が進んでも、児童福祉司をはじめ福祉や教育の現場など人手が必要なのは多く、単に財政的な面だけでは考えられないので、必要に応じて人



日本共産党港南区相談センター

毎月第三木曜日は
無料法律相談です
浅川壽一弁護士

(横浜合同法律事務所)

☎ 844-3635
FAX 841-8975

えられないので、必要箇所には人を配置していきたいと述べました

この配置への市長の姿勢に大いに期待したいとも思いました。

また、ICT化

が進んでも、児童福祉司をはじめ福祉や教育の現場など人手が必要なのは多く、単に財政的な面だけでは考えられないので、必要に応じて人

を配置していき

たいと述べました。